

東北農業青年応援通信第132号

トピックス

1. 「雇用就農資金」令和8年度第2回目の募集を実施中です（農林水産省）
2. シンポジウム「日本農作業学会 2026 年度秋季大会」のご案内（東北農業研究センター）
3. 全国トレーニングファーム推進協議会の会員募集について（農林水産省）
4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」募集開始！（農林水産省）
5. 「新・農業人ハンドブック 2026」について（農林水産省）

1. 「雇用就農資金」令和8年度第2回目の募集を実施中です（農林水産省）

農林水産省では、雇用就農者の確保・育成を推進するため、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付しています（雇用就農資金）。

現在、事業実施主体である一般社団法人全国農業会議所（全国新規就農相談センター）において、以下のとおり令和8年度第2回目の募集を実施しています。

募集要領、申請様式は全国新規就農相談センターのホームページ又は各都道府県の農業会議等で入手できます。

(ア)雇用就農者育成・独立支援タイプ：令和8年6月18日（木）から7月22日（水）まで

(イ)新法人設立支援タイプ：令和8年6月18日（木）から7月22日（水）まで

(ウ)次世代経営者育成タイプ：令和9年1月29日（金）まで随時募集

＜詳しい内容や申込方法はこちらから＞（全国新規就農相談センター）

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/

2. シンポジウム「日本農作業学会 2026 年度秋季大会」のご案内（東北農業研究センター）

農研機構東北農業研究センターが参画するスマート生産方式 SOP 作成研究事業と日本農作業学会の共催により、8月24日（月）に山形県鶴岡市においてシンポジウム「東北日本海側地域における有機農業や乾田直播の普及の実態とスマート化」兼現地見学会を開催いたします。

寒冷地における有機栽培や乾田直播の先進的な取り組み事例を紹介し、各技術の普及拡大に向けた課題やスマート農業技術の方向性について議論を行います。

ご興味ありましたら、是非ご参加ください。

＜シンポジウム＞（定員：１００名程度）

日 時：2026 年 8 月 24 日（月）9：30～12:00（開場：9：00）

会 場：庄内産業振興センター（山形県鶴岡市末広 3-1 マリカ西館 3F）

＜現地見学会＞（定員：５０名）

日 時：2026 年 8 月 24 日（月）13：00～17：00

見学場所：（株）まいすたあ：乾田直播、（農）庄内共同ファーム：三川町対馬集落
水稻有機栽培ほ場、福田大豆有機栽培ほ場

集合場所：JR 鶴岡駅前

＜詳しい内容や申込方法はこちらから＞

「日本農作業学会 2026 年度秋季大会」の詳細

https://jsfwr.org/meeting/pdf/2026_autumn.pdf

参加申込フォーム（申し込みの締め切り 7 月 24 日（金））

https://eventpay.jp/event_info?shop_code=1114373313208472&EventCode=P992471424

3. 全国トレーニングファーム推進協議会の会員募集について（農林水産省）

全国各地において、地域による新規就農希望者のサポート体制を構築し、技術と経営を総合的に学べる実践的なトレーニングファーム（研修農場）の設置を推進するため、「全国トレーニングファーム推進協議会」が立ち上げられました。本協議会では、会員向けにセミナー・イベントの開催、研修生とトレーニングファームのマッチング等を行います。個人・団体問わずどなたでも入会可能です。ぜひお申し込みください。

＜詳しい内容や申込方法はこちらから＞（全国新規就農相談センター）

<https://www.be-farmer.jp/trainingfarm/>

4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」募集開始！（農林水産省）

農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」と称して、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる以下の事例を令和8年8月31日（月）まで募集します。

▼美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組

▼幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組

▼農林水産業の生産性向上、農林水産物や食品の需要拡大・付加価値向上に資する取組

<詳しい内容や応募方法はこちらから>（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260615.html>

5. 「新・農業人ハンドブック2026」について（農林水産省）

農林水産省では、「農業をやってみたいけど、誰に相談したら良い？」「どんな支援策がある？」こんな疑問をお持ちの方向けに、就農相談窓口や就農体験、研修中や就農後に受けられる支援情報など、それぞれのステージ別に活用可能な情報をまとめた「新・農業人ハンドブック」を作成しています。この度、2026年度版が公表されましたので、ぜひご覧ください。

<詳しい内容はこちらから>（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/pdf/handbook_2026.pdf

■ □ ■ ————— ■ □ ■

発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL：022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓

https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

■ □ ■ ————— ■ □ ■